校訓『誠健勤和』

樹人

富良野西中学校

《学校だより》

令和2年2月26日

2月号

振り返りと次の年への２月

校長　　大　場　八　仁

学校経営を振り返る

令和元年度も、残すところあと１か月となりました。今年度の重点に関わる取組の評価は、右表の通りです。日常的な生徒の表情や行動、教職員の取組から判断しても、概ね満足できる１年であったと評価していましたが、生徒アンケートの結果からも目標値を上回る結果が得られ、ほっとしているところです。

しかし、課題はあります。「授業がわかる」や「目的をもった生活や学習」は、今後の伸びしろがありそうです。課題の解決には、『課題を意識する』ことが重要です。３月は、課題の意識化に全校で取り組み、解決に向け、自分たちができる取組を考え、令和２年度に繋げていきます。

令和元年度　富良野西中学校学校経営（グランドデザイン）の評価

◇年度の重点　　自ら判断し主体的に行動する生徒の育成

◇重点取組（指導事項）の評価

1. 授業改善の徹底		
授業がわかるように進められている	目標	生徒アンケート値80%以上
	評価結果	A 57.7%　B 35.2%　計 92.9%
2. 特別支援教育の充実		
全校生徒が楽しく学校に通える	目標	生徒アンケート値80%以上
	評価結果	A 70.4%　B 20.7%　計 91.1%
3. 主体性を育む指導の充実		
やり遂げて嬉しいや達成感・満足感を得られたことがある	目標	生徒アンケート値80%以上
	評価結果	A 77.0%　B 18.3%　計 95.3%
4. 安心と活力ある生活（ZERO運動を通した笑顔と希望ある生活）		
自分の将来や夢を考え，目的をもった生活や学習に取り組む	目標	生徒アンケート値80%以上
	評価結果	A 36.2%　B 45.1%　計 81.3%
5. 道徳教育の充実		
自他を思いやる心やいじめを許さない心を大切に生活できている	目標	生徒アンケート値80%以上
	評価結果	A 84.5%　B 13.1%　計 97.6%
6. 健康安全指導の充実		
命や健康の大切さを理解し，規則正しい生活や安全に気をつけた行動ができている	目標	生徒アンケート値80%以上
	評価結果	A 59.6%　B 32.4%　計 92.0%
7. 学校の働き方改革の推進		
教職員の超過勤務時間の縮減を図る	目標	１週間の勤務時間60時間以上を「0」
	結果	11月～60時間以上「11名」57.8%が超勤

教育職員勤務時間の上限指針が定められました

「教師の長時間勤務の実態は深刻であり、持続可能な学校教育の中で効果的な教育活動を行うためには、学校における働き方改革が急務である」との押さえのもと、『公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律』が令和元年（2019 年）12 月 11 日に公布されました。これには、「文部科学大臣は、教育職員の健康及び福祉の確保を図ることにより学校教育の水準の維持向上に資するため、教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置（指針）を定める」とあります。

定められた指針は、『**教育職員の在校等時間の上限**』等に関するもので、以下のような内容です。

〇業務を行う時間の上限

①１か月の時間外在校等時間について、　４５時間以内

②１年間の時間外在校等時間について、３６０時間以内

※「在校等時間」とは、教育職員が学校教育活動に関する業務を行っている時間とし、基本として学校内に在校している時間を指します。しかし、校外で生徒引率をする時間や部活動を行う時間（土日等も含む）も教育職員の業務時間として、加えることとなっています。

【注釈】「在校等時間」と「時間外在校等時間」の具体（１日の場合）

・教員の在校しなければならない時間＝勤務時間７時間 45 分＋休憩時間 45 分＝８時間 30 分故に、教員１日の基本となる「在校等時間」は、８時間 30 分となります。

・上記の「〇業務を行う時間の上限」で説明している「時間外在校等時間」とは、教員が校内で行っている授業準備や保護者懇談、部活動等、上の８時間 30 分を越えて行った業務時間のことを指します。

【例】　午前８時に出勤し、部活動指導を終え午後７時 30 分に退勤した場合、「時間外在校等時間」は「３時間」。土曜に３時間の部活動、日曜は部活を休息日にして１か月間勤務した場合、１か月間の時間外在校等時間は７２時間となり、上限で示された時間を２７時間オーバーとなります。（繁忙期には、80 時間まで認めるとの例外規定がありますが、毎月時間オーバーにはできません。）

この指針は、令和２年４月１日から適用となっています。今回示された「上限指針」は、これまで以上に、教員の勤務時間外での勤務の縮減を目指す内容となっていることから、どうか、保護者、地域の皆様には、教員の健康及び福祉の確保が、学校教育の質の維持向上となることに御理解いただきますとともに、『地域の子どもは地域で育てる』との社会総掛かりで子ども達を育む体制づくりへの一層の御支援・御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応

標記の感染症は、全国各地で感染が拡大し、いつ富良野市で発生してもおかしくない状況となっております。本校も北海道や富良野市教育委員会からの指示や助言を受け、感染症拡大防止に向け、日々対応に努めているところです。２月２６日午後１時の段階で市内小全中学校臨時休校措置実施の連絡がありました。臨時休校の期間は、下記の通りとなります。今後も計画していた行事等の変更が予想されますが、ご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

◎臨時休校の期間　２月２７日(木)～３月４日(水)　　３月５日(木)から登校

※３年生のみ　３月２日（月）10:00 登校　（公立高校入試への指導 11:00 下校）

～部活動の記録～

２月の西中

ZERO 運動月別目標　「一年間を振り返ろう」

月別　保健目標　「心の健康を考えよう！」

〇令和元年度全国中学校体育大会

第 57 回全国中学校スキー大会（２月７日・８日）

・女子 2.5ｋｍクラシカル　　小池　　梓　５位

・女子 2.5ｋｍフリー　　小池　　梓　４位

〇令和元年度金井杯争奪卓球大会（２月２日）

・女子シングルスの部　第３位　保岡　柚光

〇第１回Kスポーツ杯争奪バスケットボール大会

・男子の部　第１位

救命救急講習

２月１２日(水)に、２年１組が保健体育の授業の一環として救命救急講習を実施いたしました。

この講習会は、富良野消防署から講師をお招きし、心臓マッサージや AED の使い方など、万が一に備えての説明を受け、その後、実際に実技実習に取り組んでいました。

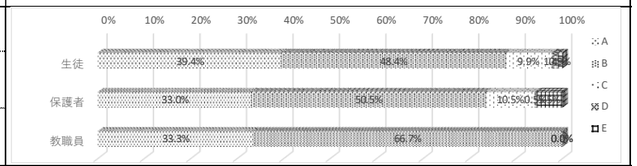
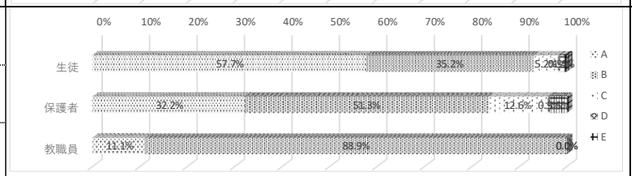
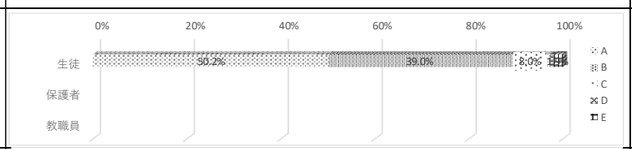
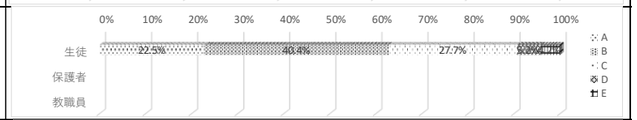
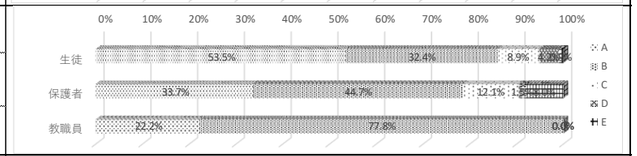
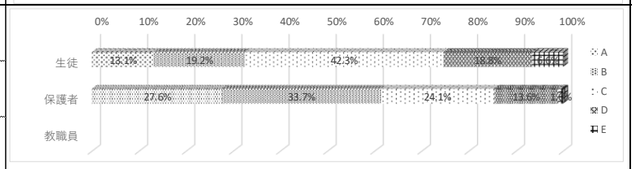
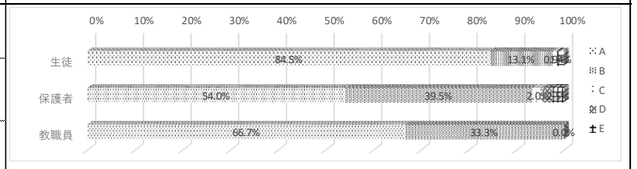
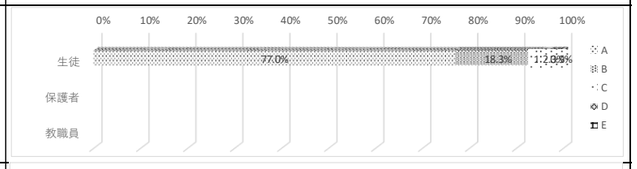
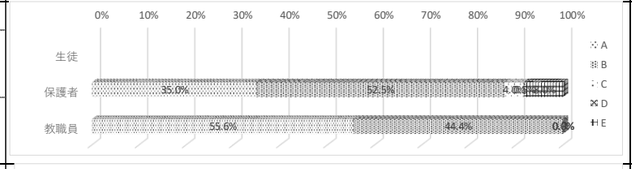
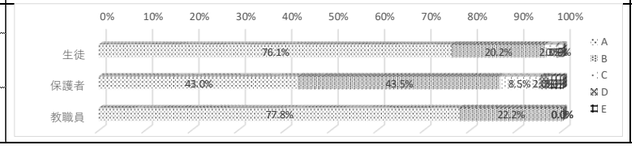
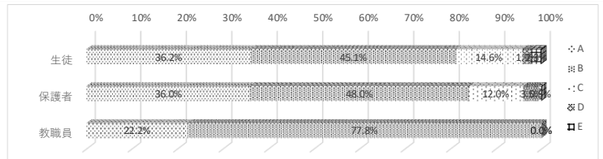
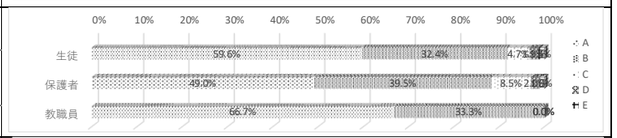
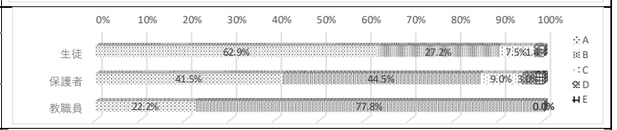
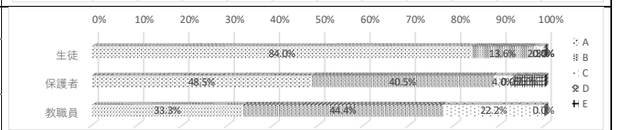
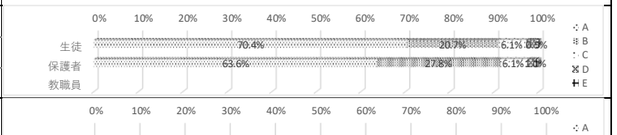
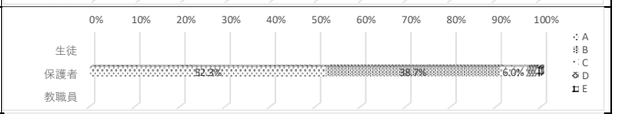
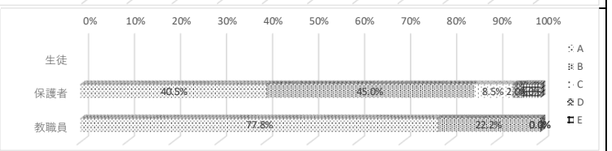
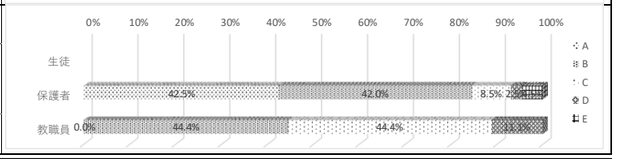
生徒たちは真剣な眼差しで取り組んでいました。

講師の皆さん、大変ありがとうございました。

なお、２年２組は２月１４日（金）に予定しておりましたが、インフルエンザ等による学年閉鎖により延期といたしました。

令和元年度　富良野西中学校　学校評価

上段（生徒）　中段（保護者）　下段（教職員）

	質　問　事　項	グ　ラ　フ
1	あなたは、自分から進んでノートの取り方を工夫したり発言するなど、学力の向上をめざし努力していますか。 生徒の学力向上をめざす教育が進められていると思いますか。 ※西中学校では数学の習熟度別学習や放課後補習、長期休業中の学習サポートなど、基礎学力の定着を目指した小テストなどに取り組んでいます。 創意ある教育課程の編成実施により、確かな学力の向上をめざす「わかる授業」への改善の取組が推進できたか。（TTや習熟度学習，見通し・振り返り，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善）	
2	あなたは、各教科の授業が、基本的な知識や技能がわかるように進められていると思いますか。 生徒が意欲的に学ぶ授業が進められていると思いますか。 ※西中学校では教材・教具を工夫したり、課題を提示して見通しを持たせる授業に取り組んでいます。 基礎・基本の徹底をはじめ、生徒一人一人に自らの学び方と主体的な学習習慣を確立させる学習指導ができたか。（知識・技能の確実な習得，家庭学習指導等）	
3	授業の始めに課題が示され、その日の学習の見通しをもって授業にのぞめていますか。	
4	授業の終わりに振り返る時間が設定されていますか。	
5	あなたは、自分の考えや意見をもち授業中に全体やグループなどで相手に伝えることができていますか。また、友達の考えや意見を聞いて、自分の考えに生かすことができていますか。 生徒一人一人が大切にされる学習活動が進められていると思いますか。 ※西中学校では数学を中心にTTや支援員による学習支援を行い、一人一人に学習内容を定着させる取組を行っています。 自他の考えや意見を大切にし，主体性を意図的に育む学習や教育活動を進めることができたか。（思考力・判断力・表現力を育む学習や活動，個性の伸長，ZERO運動集会等）	
6	あなたの平日の家庭学習時間を教えてください。 A　３時間以上　　B　３時間～２時間　　C　２時間～１時間 D　１時間～３０分　E　３０分より少ない　※塾の時間を含みます。 お子さんは１時間以上の家庭学習の習慣が付いていますか。 ※西中学校では、家庭学習計画表の取組や宿題の点検など家庭学習の定着指導を行っています。（指導している家庭学習の目安時間～１年生70分以上、２年生80分以上、３年生90分以上）	
7	あなたは、自分自身や友人を大切にしたり、いじめを許さない心や多くの人に感謝する心を大切に生活できていますか。 自他を思いやる心やいじめを許さない心、関わりのある方々への感謝する心が身に付いていると思いますか。 ※西中学校では「ZERO運動」を通して、いじめをゆるさない心を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいます。また、ZERO運動サブテーマを「一日一善　笑顔あふれる学校に」として教育活動を進めています。 ZERO運動を基盤に自他を尊重したり、思いやりや笑顔・感謝する心など、人としての生き方の自覚を深め、安心と活力ある生活をめざす指導を進めることができたか。	
8	あなたは、前期の行事や授業、学級活動、部活動に取り組み、やり遂げて嬉しいと思ったり達成感や満足感を感じることがありましたか。	
9	中学校で行われている道徳の学習について，お子さんとの話や通信等から内容や授業の様子をご存じですか。 ※今年から道徳の教科書も活用し授業を行っています。自主・自律や生命尊重，友情など22の道徳的価値について、自分の考えをもち深める学習に取り組んでいます。（参考にー度お子さんの教科書をご覧ください。） 多様な価値観との対立も含め、自立した個人としてよりよく生きるために道徳的な価値に向き合い、いかに生きるべきか自ら考え続ける道徳科の授業づくりに努めることができたか。	
10	あなたは、学校のきまりやあいさつを大切にして、よりよい生活を目指し生活することができていますか。 生活の決まりや挨拶など基本的な生活習慣について、保護者と学校が連携して指導ができていると思いますか。 ※西中学校では、生徒会を中心に「生活の決まり」の確認を全校集会で行うとともに「あいさつ運動」に積極的に取り組んでいます。 多感な思春期の押さえに立ち、自らを律する心や集団生活のきまりを守る指導を保護者や関係機関等との連携のもと、進めることができたか。	
11	あなたは、自分の将来や夢を考えながら、目的をもって生活や学習に取り組んでいると思いますか。 自らの個性を伸ばし自分の将来を考える取組から、学習や生活に対し意欲的に向かう態度が身に付いていると思いますか。 ※西中学校では１学年「職業体験学習」３学年「高校説明会」など、普段の学習からキャリア教育の視点に則り卒業後のことを考える取組を進めています。 意欲をもって学習や生活に臨む生徒を育成するため、３年間を見通したキャリア教育（学活・特別活動・総合）の充実した指導を進めることができたか。	
12	あなたは、命や健康の大切さを理解し、日頃から規則正しい生活や安全に気をつけた行動がとれていると思いますか。 生命や健康を大切にする態度が身に付いていると思いますか。 ※西中学校では保健体育の授業だけでなく「健康診断」や「性に関する指導」「熱中症対策の水筒などの持参」等、生徒が生命や健康について考える学習や対策に取り組んでいます。 自らの生命を大切にし、たくましい心身を自らつくる健康・安全指導を進めることができたか。	
13	あなたは、給食や教科の学習をとおして、健康のもととなる「食の大切さ」を学べていると思いますか。 日常の「食生活」に気を配る態度が身に付いていると思いますか。 ※西中学校では栄養教諭を中心に、給食の大切さを考えさせたり食育の授業に取り組んでいます。 自分を大切にし、心と体をきたえる基となる「食」への理解と日常の実践に結びつける「食育」を進めることができたか。	
14	あなたは、避難訓練や健康に関する学習などを通じて、命や健康が人には大切であることを実感できていますか。 生徒の生命等を守るための避難訓練や健康指導が適切に進められていると思いますか。 ※西中学校では年2回の避難訓練の他に、各種健診やアレルギー報告を通して個別の健康指導に取り組んでいます。 生徒の生命と健康を守るための危機管理や安全教育、ネットやゲーム等の情報教育、避難訓練が組織的・協働的に行われたか。	
15	あなたは、楽しく学校に通えていますか。 お子さんは、心身ともに健康で楽しく学校に通えていると思いますか。	
16	学校は通信やHP、まちCOMIメールなどで積極的に情報発信をしていると思いますか。 ※西中学校では学級通信、学年通信の発行、学校通信の校区配布とHPへの掲載、まちCOMIメールの有効活用等に取り組み、学校の様子をお伝えしています。	
17	学校はお子さんの学習や生活の様子について、保護者と積極的に相談していると思いますか。 ※西中学校では学校でのお子さんの様子について、電話連絡や家庭訪問を適宜行いながら、保護者の皆様との連携を積極的に図るよう努めています。 保護者や地域からの相談などに真摯に向き合うことができたか。	
18	「部活動に係る方針」による取組により、お子さんの健康の確保や家庭生活の充実が進んだと思いますか。 ※西中学校では学校閉庁日（夏３日、冬６日）や部活動休養日（平日１日＋土日どちらか１日の休養日の、週２日の休養日を基本に年間104日以上の休養日）などを設定し、生徒の健康維持と教育の質の向上を目指す取組を進めています。 学校の働き方改革の方針や部活動に係る方針に則り、学校における働き方改革について理解し、取り組むことができたか。	

１　学校評価から、成果して捉えられるもの

- 「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」を含めると、全ての項目で前期を上回ることができた。
- 生徒の家庭学習時間が増加しており、家庭学習の習慣が身に付いている。
- 道徳の学習についての評価が高まった。

２　課題として捉えられるもの

- 「授業での課題の提示・見通し・振り返りのある授業」
- 「楽しく学校へ通えている」は90%以上と高い評価ではあるが、前期より下がった。

３　次年度の課題として

- 「課題」「見通し」「振り返り」のある授業を実施します。
- 学力の向上を図ります。（継続的な取組、学習サポート、言語活動の充実など）
- 生徒と関わる時間を確保できるよう、働き方改革を推進していきます。

3月

3	(火)	公立高校会場下見	13	(金)	同窓生講話(中止)・同窓会入会式(検討中)	19	(木)	山部中との交流学習（修学旅行）(検討中)
4	(水)	公立高等学校入学者選抜学力検査	14	(土)	第69回卒業証書授与式			前期生徒会役員立会演説会・投票
		富良野看護学校との交流授業(中止)			(内容等検討し実施予定)	20	(金)	春分の日
5	(木)	公立高等学校入学者選抜面接	16	(月)	校内研修・学年会議	23	(月)	認証式
6	(金)	薬物乱用防止教室(3学年)(中止)	17	(火)	公立高等学校合格発表	25	(水)	修了式・離任式・職員会議
9	(月)	振替休業日(14日分)			山部中との交流学習（修学旅行）(検討中)			
10	(火)	職員会議			常任委員会			※4月7日(火)　始業式・入学式
12	(木)	卒業式総練習(中止予定)	18	(水)	参観日(1，2年)(中止予定)			